

大 原 功 議員



防波堤整備より早く、 木曽川の砂の除去を

問

市政について聞く。

- (1) 地震で津波が起きたときの水位はどのくらいになるか。
- (2) なごや競馬は、24年度に(廃止を含めた)検討委員会が始まると聞いている。弥富トレーニングセンター(駒野地内)がなくなれば、自衛隊を誘致し、国の交付金を得る方法がこれからは必要ではないか。
- (3) 津波が起きると木曽川からかなりの勢いで遡上すると思う。
- 防波堤も必要だが、今一番大事なのは、時間をかけずに済む、木曽川の砂を除くすることではないか。
- (4) ボール遊びをしてはいけませんと看板に書いてある公園は、公園に何の意味があるのか。

- (5) 議員報酬(改定)について、特別職報酬等審議会(以下「審議会」)を開催してはどうかと市長は言ったが、本当に議員報酬が正しいのか、現議員数がいいいのかを、20から50代のサラリーマンや、家計簿をつける主婦などが委員をやってはどうか。パブリックコメントは考えているのか。
- (6) 生活保護者で、他市にいた人が弥富で(保護費を)受給している人があった。なぜ他市でもらわないのか疑問に思うが、対策をどう考えるか。
- (7) 私はT P Pに賛成である。
- 農家も非農家も、車や服の購入に関税が免除され、年間一人当たり約20万円の収益があるのではないかと思うがどうか。

今後関係機関 に要望していく

答 市長

- (1) 堤防が決壊した場合、地盤高より約3から4 mになると、大学准教授から聞いている。
- (2) 一つの大きな考え方はあるが(県競馬組合の管理であり)自衛隊の事情等もあると思う。
- 経費的な問題も含め、一度話はしてもいいかと思っている。
- (3) 高潮防波堤が老朽化し、国は1億2千万円の調査費を予算化した。調査が具体的に補強工事等に及んでいくように切望している。
- 伊勢湾に注ぐ河川が、上流から砂を運ぶ状況で、伊勢湾の水深は非常に浅い。
- (伊勢湾河口の)水深の深さについて、これからも関係機関に要望していきたい。
- (4) どこまでが許容範囲か、もう一度見直しをしていきたい。

- (5) 審議会は5年間開催していない。特別職給与と議員報酬に対する、人事院勧告に基づくベース部分を、しっかりと審議していきたい。
- 10人の委員を計画しており、公募を2人ほど考えていきたい。
- パブリックコメントは現在視野にないが、一度検討したい。
- (6) 国の法の下にしっかりと審査し、認可している。前向きに仕事に就く姿勢を示さなければ、いつまでも支援できない。
- 不正受給はあつてはならない。資産の差し押さえ等、しっかりと調査する。
- (7) 農業は、世界と戦う土壌を数年の間につくらないと、関税撤廃は日本に大きな問題を起こすと思っている。
- 他分野は各専門で協議し、日本がどうあるべきか審議されなければならない。
- 今のところ、農業におけるT P P参加は、私の立場としては反対している。